がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

IRB番号「2025-GB-072」

研究課題名「PET/CTにおける大腸FDG集積の腫瘍性病変に対する診断能の検討」

１．研究の対象

PET/CT検査を受け、検査所見にて大腸に偶発的FDG集積が指摘され、その後に2015年1月1日から2025年6月30日までに当院で大腸内視鏡検査を施行された方を対象とします。

２．研究の目的・方法

目的
PET/CTはがんの病期診断や再発・転移の検索に広く用いられています。検査の過程で、臓器に偶発的なFDG集積がみられることがあり、特に大腸に集積を認めた場合、精査目的に内視鏡検査が依頼されることがあります。しかし、これらの集積が臨床的に意義のある病変を示しているかどうか、またFDG集積の程度（SUVmax）を用いた良悪性の判別の有用性については十分に検討されていません。

本研究では、PET/CTで偶発的に大腸FDG集積を指摘され、後日内視鏡検査を受けた患者さんの臨床経過を後方視的に検討し、FDG集積の臨床的意義およびSUVmaxによる質的診断の限界と有用性を明らかにすることを目的とします。

方法
当院でPET/CT検査を受け、偶発的に大腸のFDG集積が認められ、2015年1月から2025年6月までの間に当院で内視鏡検査が施行された病変を対象とし、診療録をもとに以下の情報を収集・解析します。
対象者の背景（年齢、性別、既往歴、腫瘍の有無）、PET/CT画像（SUVmax値）、内視鏡所見、病理診断（腺腫、粘膜内癌、T1以深の癌など）を評価し、FDG集積の有無と病理結果の関係を検討します。加えて、SUVmaxのカットオフ値をROC解析により算出し、診断精度（感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率）を評価します。

３．研究期間

承認日　～　2027年12月31日

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：臨床所見背景（年齢、性別、既往歴、腫瘍の有無）、PET/CT画像（SUVmax値）、内視鏡所見、病理診断（腺腫、粘膜内癌、T1以深の癌など）治療（内視鏡治療、治療成績）、予後等

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号

がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

研究責任者　消化器内科　医員　十倉 淳紀
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141